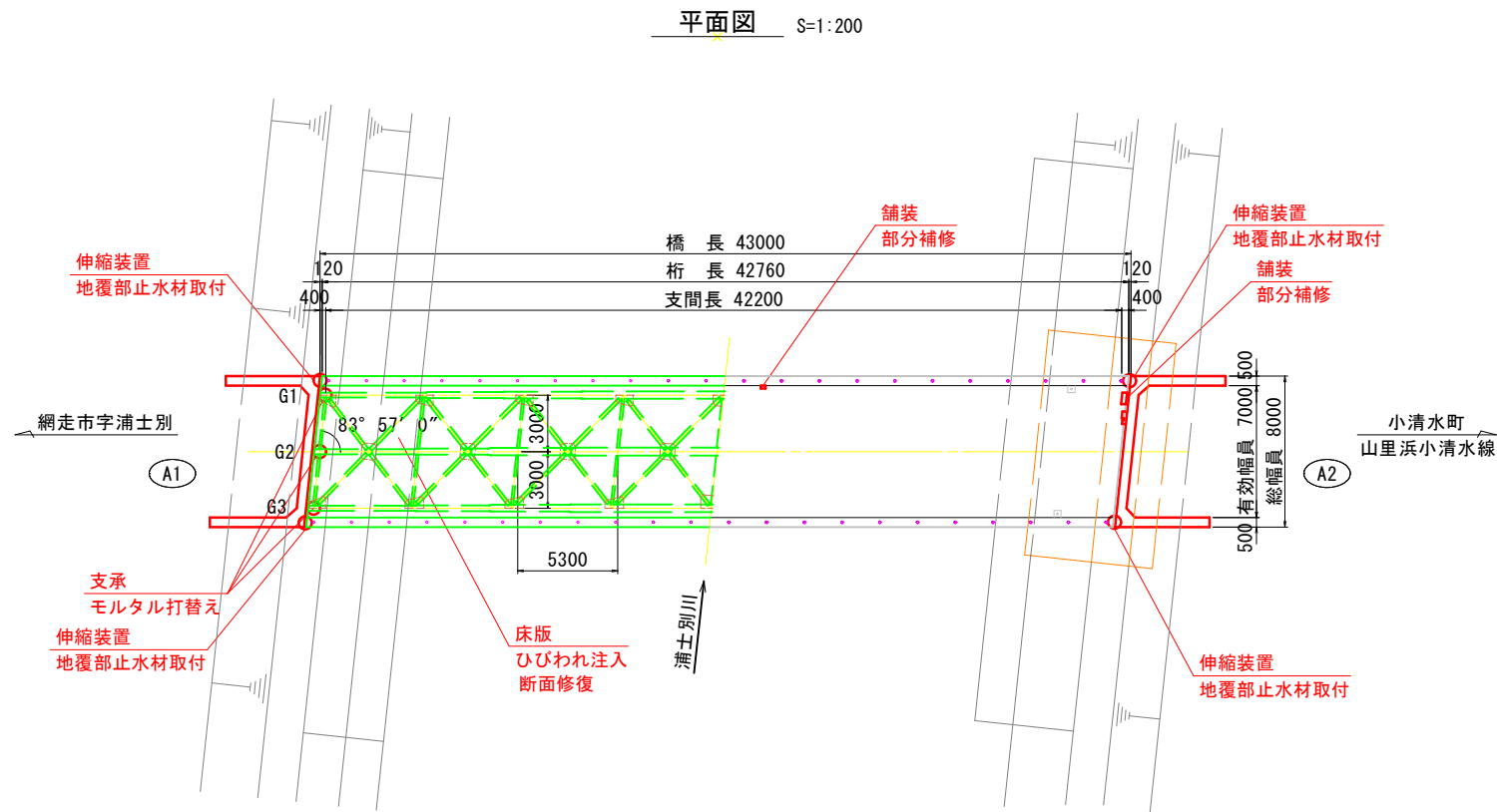
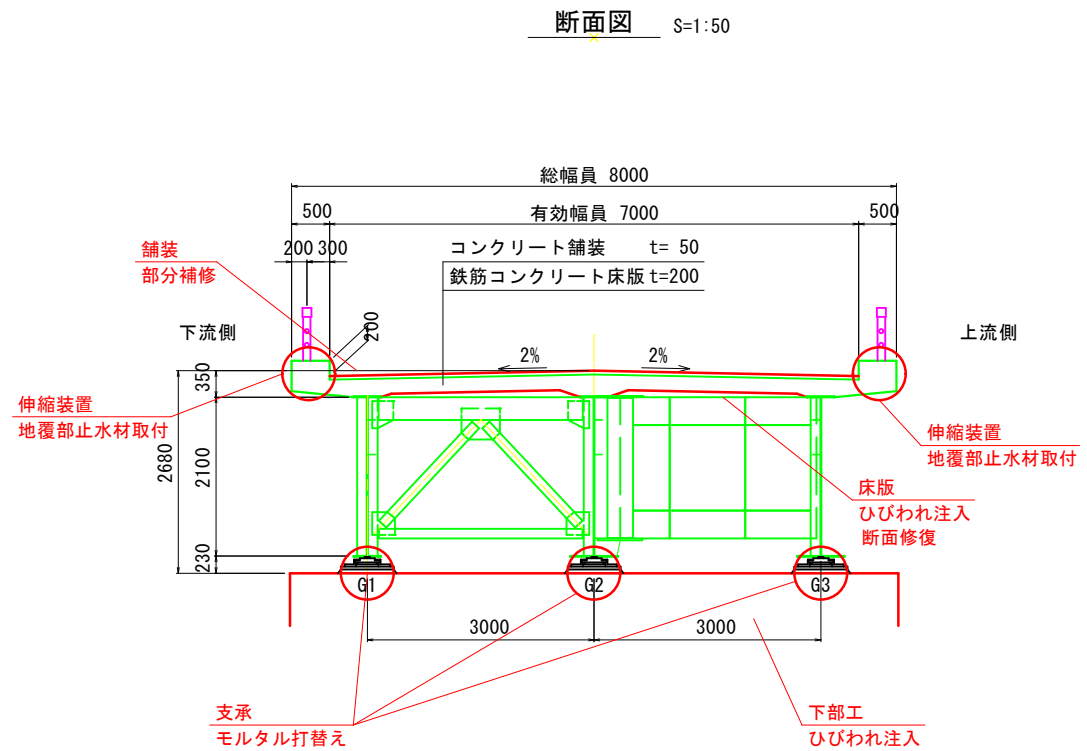
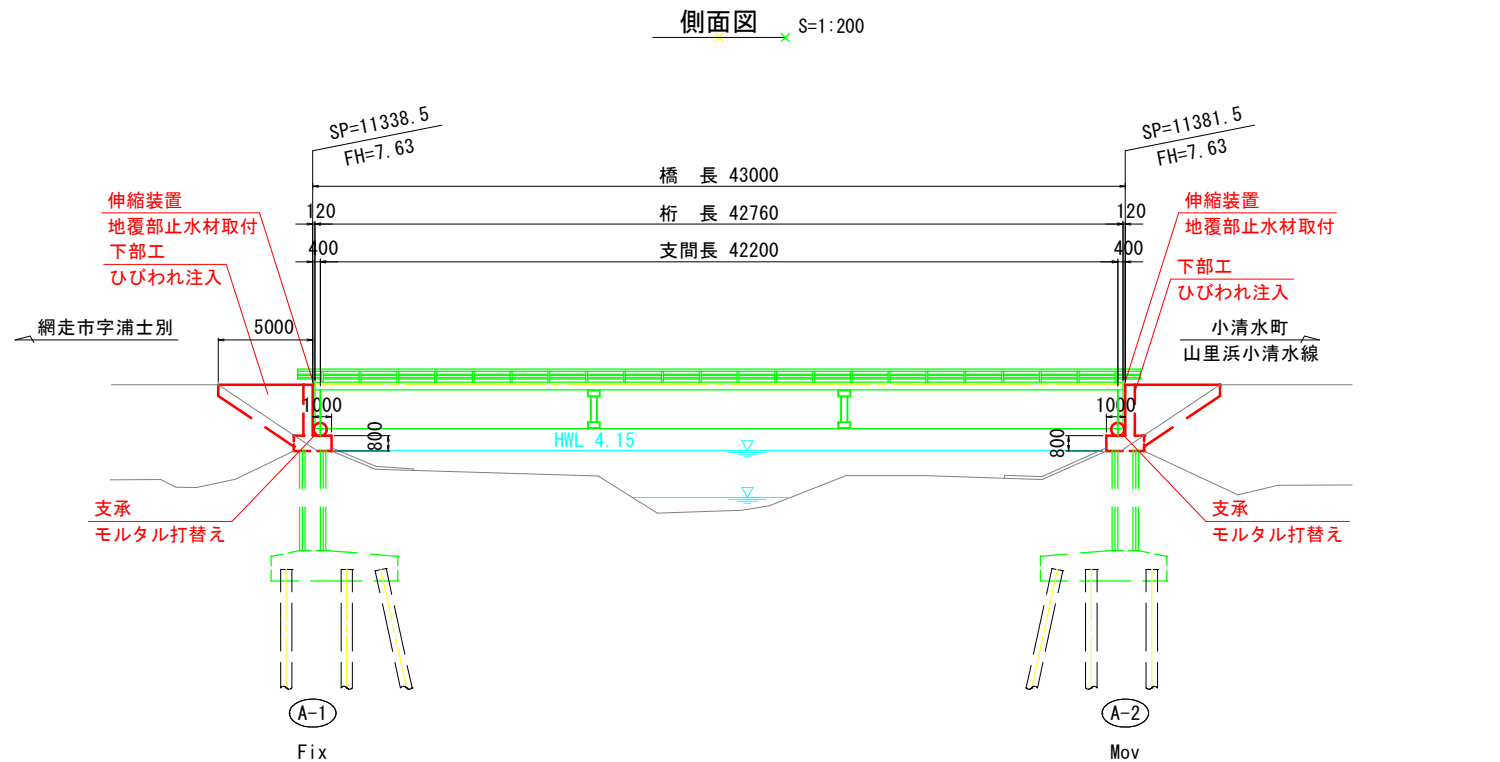


補修一般図



補修一覧

補修部位	補修工種・補修工法	仮設計画
RC床版	ひびわれ注入	足場架設
	断面修復	足場架設
支承	モルタル打替え	—
下部工	ひびわれ注入	—
舗装	部分補修	片側交互通行
伸縮装置	地覆部止水材取付	—

注意事項

- 当該一般図は、既存資料及び簡易計測により復元したものである。
- 細部寸法などは想定箇所もあるため、使用の際は注意すること。

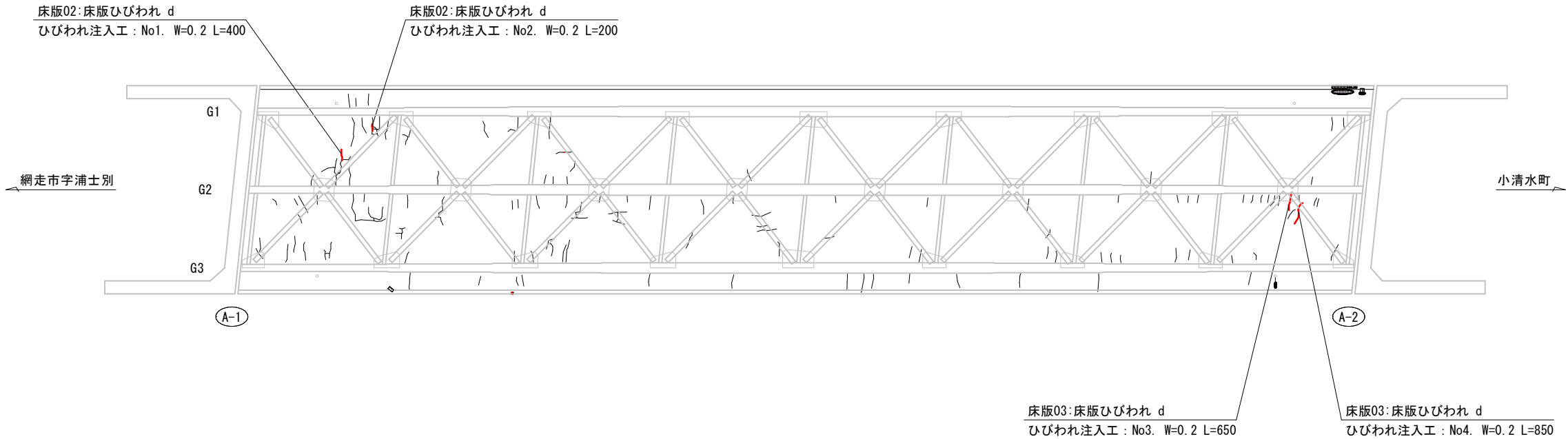
【境橋】

工事名	境橋補修設計委託（繰越）		
図面名	補修一般図		
作成年月日	令和6年7月		
縮尺	図示	図面番号	1/9
会社名	サン技術コンサルタント株式会社		
事業者名	網走市		

床版補修図(1)

ひびわれ注入工

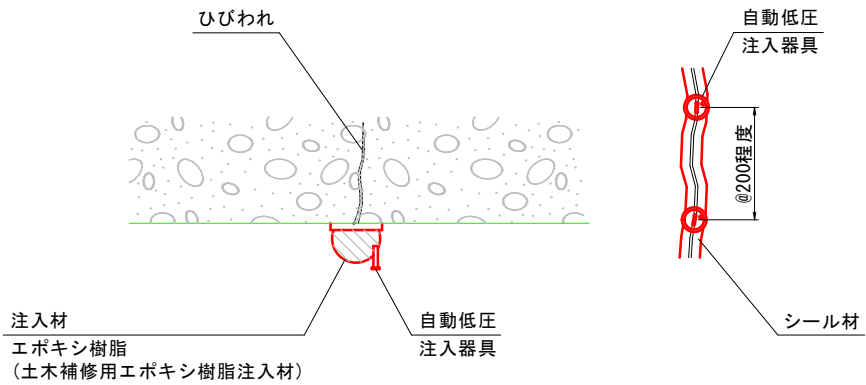
平面図 S=1:100



ひびわれ注入工標準図

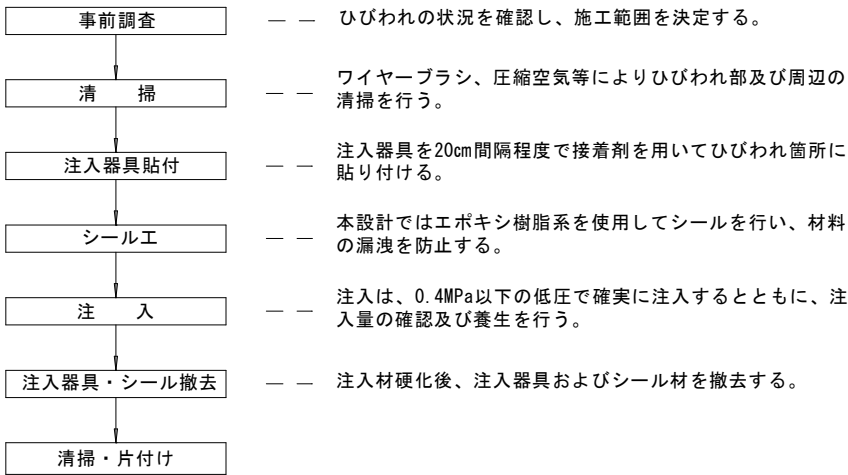
自動低圧注入工法

Non Scale



適用範囲：ひびわれ幅 W = 0.20mm 以上 1.00mm 未満

ひびわれ注入工 施工手順



ひびわれ注入工 数量表

No	幅 b (mm)	長さ L (mm)	深さ h (mm)	体積 V (m ³)	低圧注入器具 (個)	部 材
1	0.20	400	40	0.000002	3	床版02
2	0.20	200	40	0.000001	2	〃
3	0.20	650	40	0.000003	5	床版03
4	0.20	850	40	0.000003	6	〃
合 計				0.000009	16	

※ひび割れ深さは、鋼材の腐食に対するひび割れ幅の限界値として「コンクリート標準示方書」に示される推定値0.005c（c:ひび割れ幅）とする。（一般の環境、幅b/0.005=深さhとする）

※体積については次式を用いる。 $V = b \times h \times 1/2 \times L$ 「土地改良工事数量算出要領(案)」令和3年度版 P15-2より

※低圧注入器具は、次式により算出する。
個数 = L （長さ） / 0.20（器具間隔 @ 200mm 程度） + 1

注意事項

- 当該図面は、既存資料及び簡易計測により復元したものである。
- 細部寸法などは想定箇所もあるため、使用の際は注意すること。
- ひびわれ注入工はひびわれ幅0.20mm以上を基本とする。
ひびわれ幅0.20mm未満のひびわれに関しては経過観察とする。
- 注入材はエポキシ樹脂とし、硬質系・低粘度を基本とする。

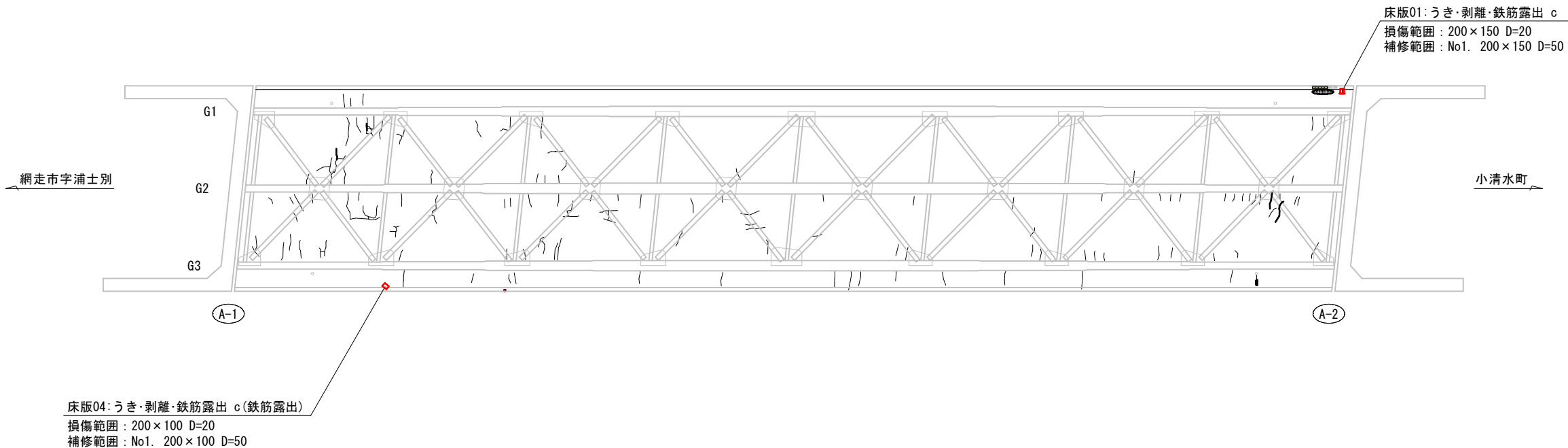
【境橋】

工 事 名	境橋補修設計委託(繰越)		
図 面 名	床版補修図(1)		
作成年月日	令和 6 年 7 月		
縮 尺	図 示	図面番号	2 / 9
会 社 名	サン技術コンサルタント株式会社		
事業者名	網 走 市		

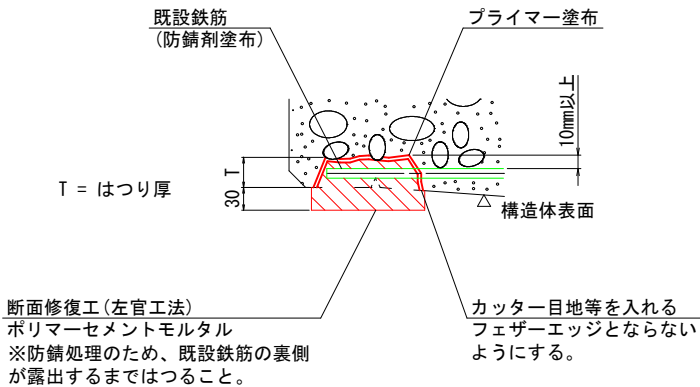
床版補修図(2)

断面修復工

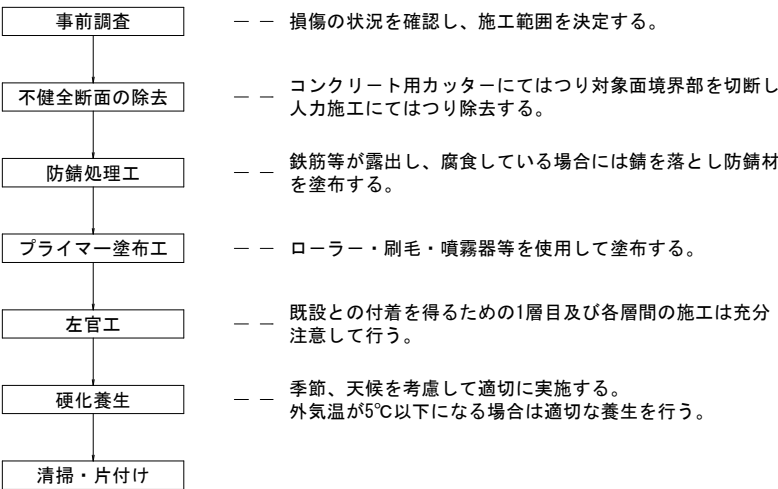
平面図 S=1:100



断面修復工標準図
左官工法 S=non scale



断面修復工 施工手順



断面修復工 数量表

No	L1 (mm)	L2 (mm)	t (mm)	体積 V (m3)	摘 要
1	200	150	50(20)	0.00150	床版04
2	200	100	50(20)	0.00100	床版01
合 計				0.00250	

※断面修復深さの最小値は、水切り部の鉄筋かぶりを確保するため、30mm増厚して50mmとしている。
※()内の数値は、実測値である。

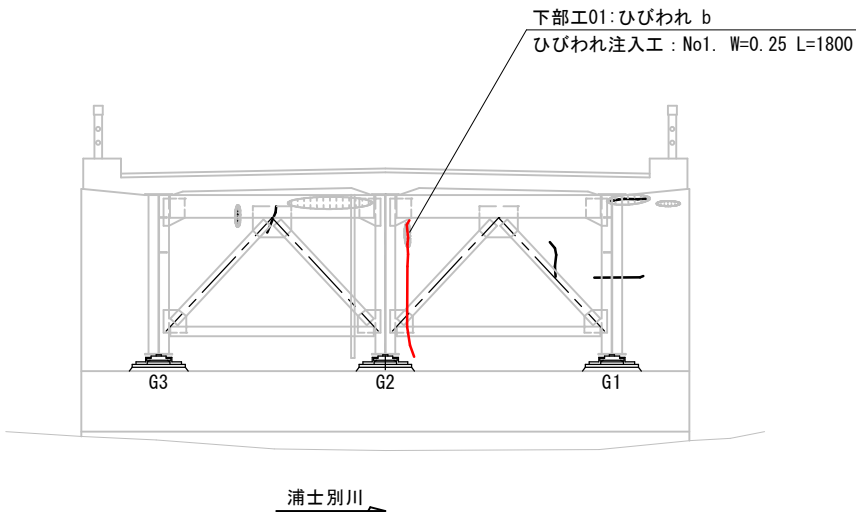
注意事項

- 当該図面は、既存資料及び簡易計測により復元したものである。
- 細部寸法などは想定箇所もあるため、使用の際は注意すること。
- はつり作業は健全なコンクリートへの悪影響を避けるため慎重に行うこと。
- 鉄筋の錆除去は鉄筋の裏面も含め、確実に除去していることを確認すること。
- 修復材は各メーカーから数種類発売されているが、付着性がよいものを採用することとする。
- 断面修復部において 脆弱部がある場合、はつり取る等処理を行った後、断面修復を行うこと。
- 損傷サイズについては概数であり、現地確認の上、寸法等を決定すること。

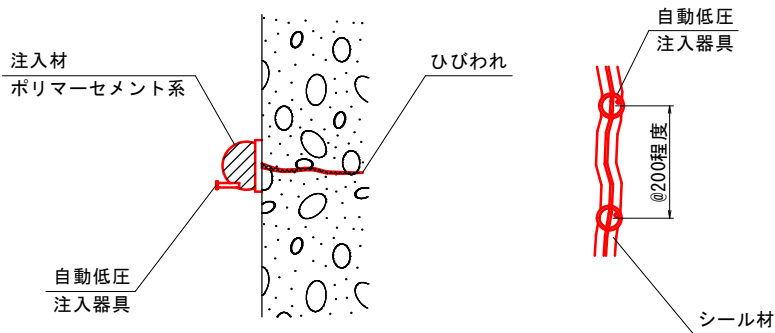
【境橋】			
工 事 名	境橋補修設計委託(繰越)		
図 面 名	床版補修図(2)		
作成年月日	令和 6 年 7 月		
縮 尺	図 示	図面番号	3 / 9
会 社 名	サン技術コンサルタント株式会社		
事業者名	網 走 市		

下部工補修図

A1橋台 S=1:50

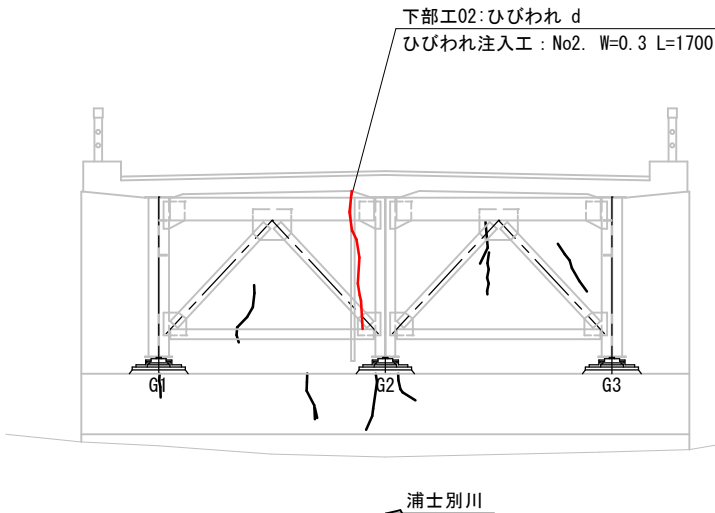


ひびわれ注入工標準図
自動低圧注入工法



適用範囲 : ひびわれ幅 W = 0.20mm 以上 1.00mm 未満

A2橋台 S=1:50



ひびわれ注入工 数量表

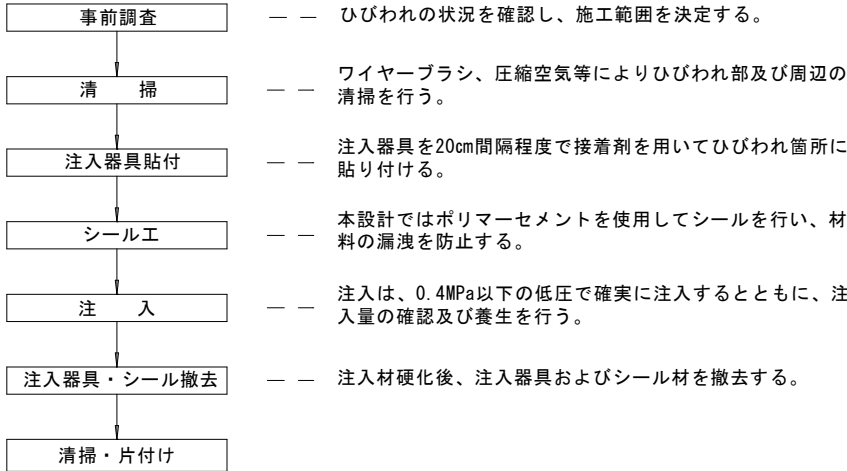
No	幅 b (mm)	長さ L (mm)	深さ h (mm)	体積 V (m³)	低圧注入器具 (個)	部 材
1	0.25	1800	50	0.000011	10	下部工01
2	0.30	1700	60	0.000015	10	下部工02
	合 計			0.000026	20	

※ひび割れ深さは、鋼材の腐食に対するひび割れ幅の限界値として
「コンクリート標準示方書」に示される推定値0.005c (c:ひび割れ幅) とする。
(一般の環境、幅b/0.005=深さhとする)
※体積については次式を用いる。 $V = b \times h \times 1/2 \times L$
「土地改良工事数量算出要領(案)」令和3年度版 P15-2より
※低圧注入器具は、次式により算出する。
 $個数 = L (長さ) / 0.20 (器具間隔 @ 200mm 程度) + 1$

注意事項

- 当該図面は、既存資料及び簡易計測により復元したものである。
- 細部寸法などは想定箇所もあるため、使用の際は注意すること。
- ひびわれ注入工はひびわれ幅0.20mm以上を基本とする。
ひびわれ幅0.20mm未満のひびわれに関しては経過観察とする。
- 注入材はポリマーセメント系とし、硬質系・低粘度を基本とする。
等を行い確実にひびわれ内部に注入されるように留意すること。

ひびわれ注入工 施工手順



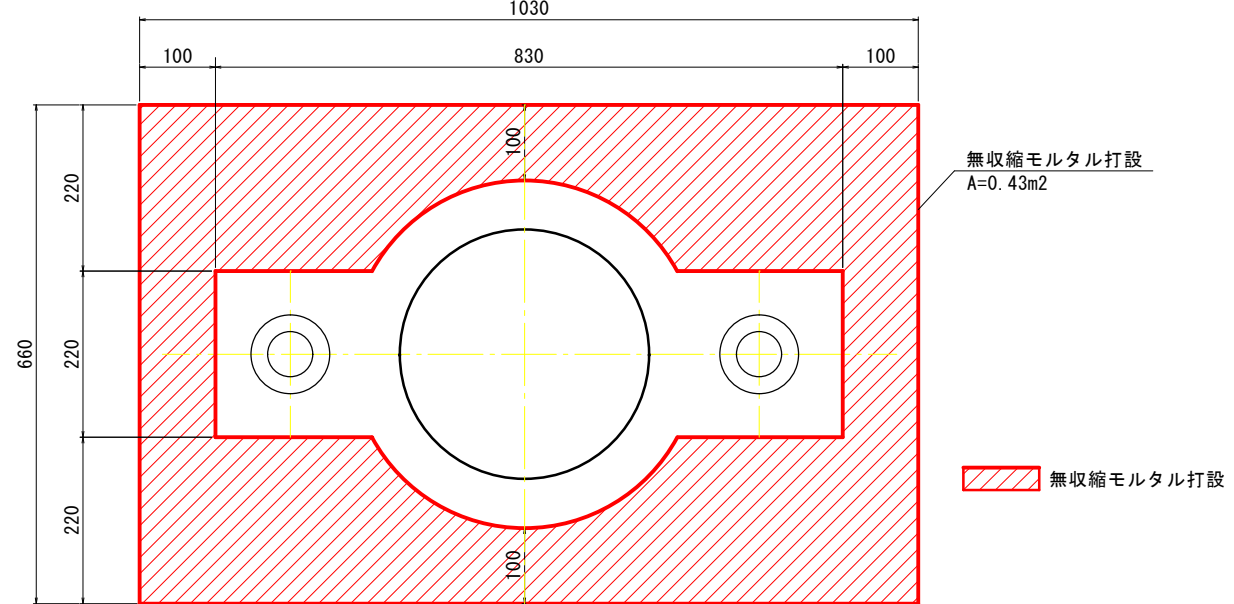
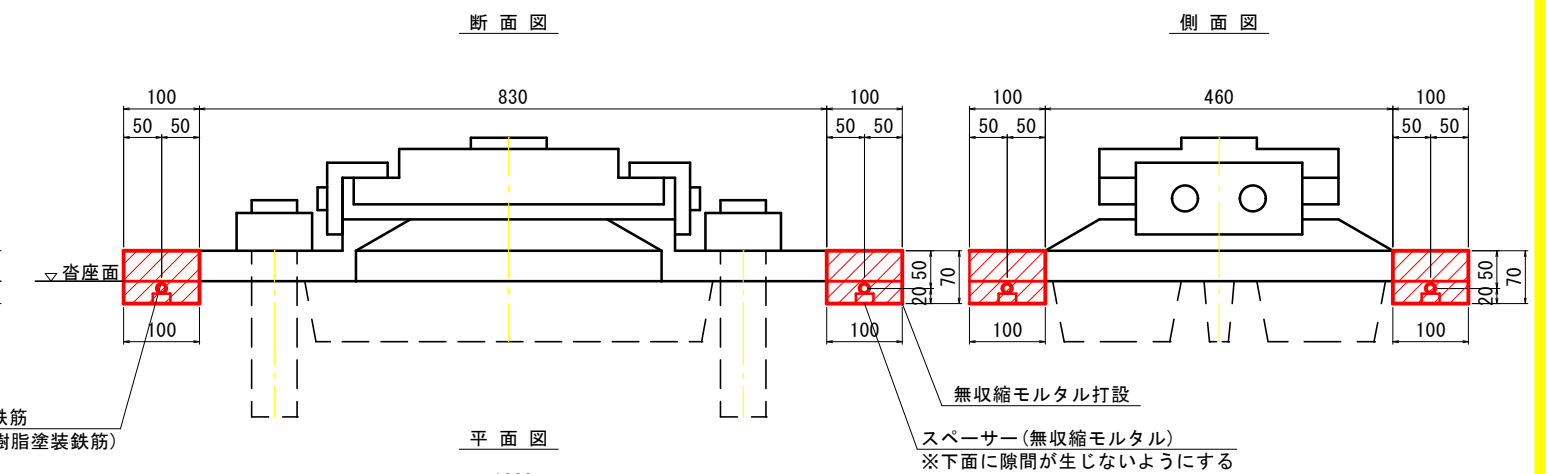
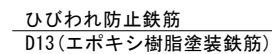
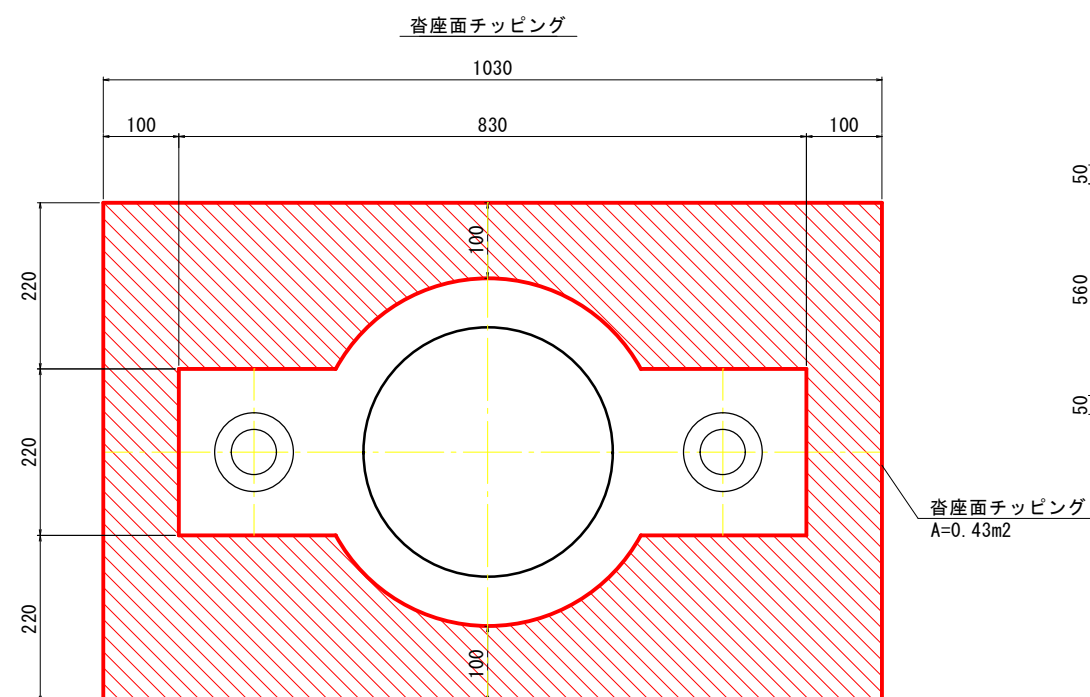
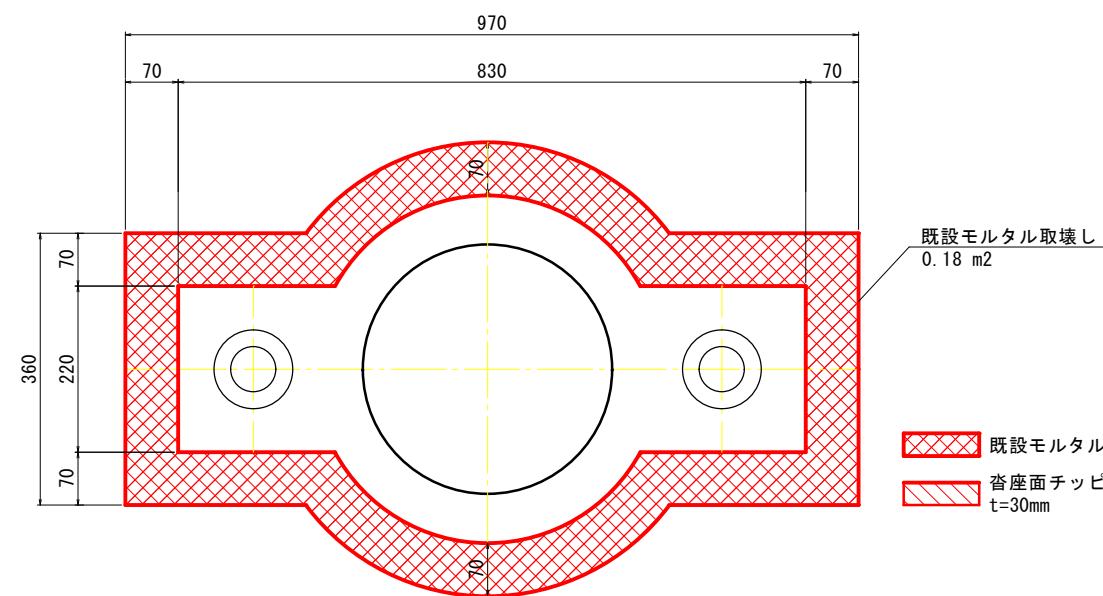
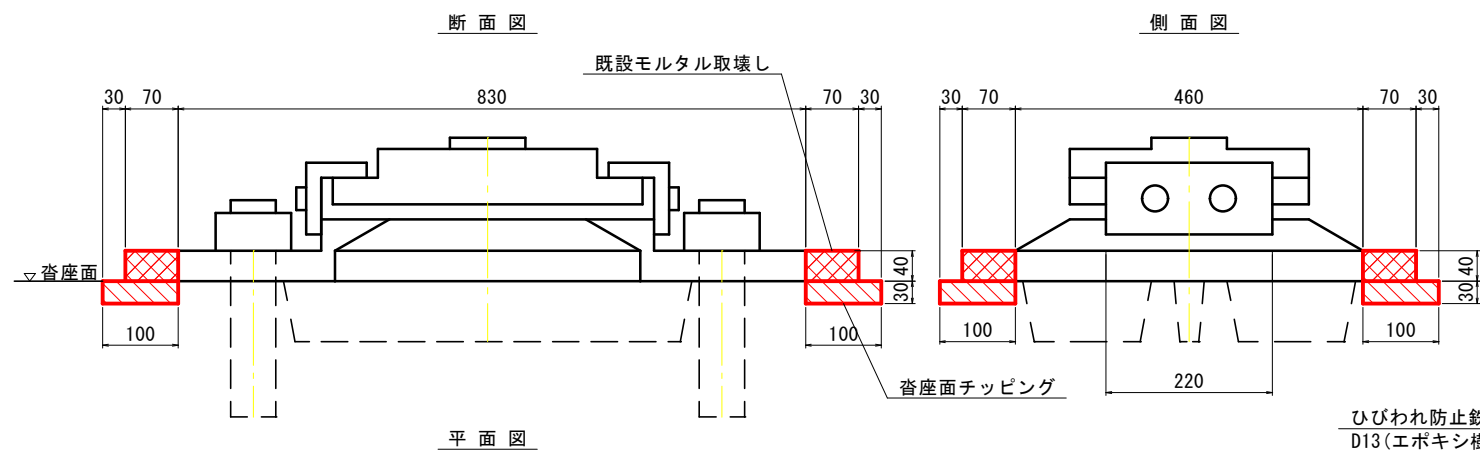
【境橋】

工 事 名	境橋補修設計委託(繰越)		
図 面 名	下部工補修図		
作成年月日	令和 6 年 7 月		
縮 尺	図 示	図面番号	4 / 9
会 社 名	サン技術コンサルタント株式会社		
事業者名	網 走 市		

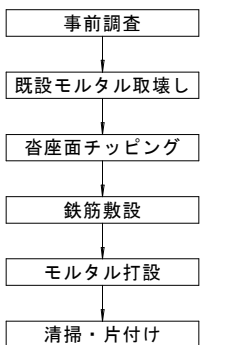
支 承 補 修 図

既設モルタル取壊し S=1:5

モルタル打設工 S=1:5

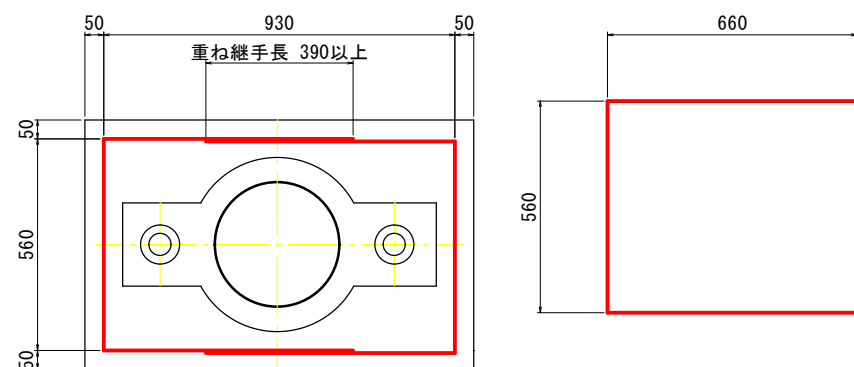


施工手順

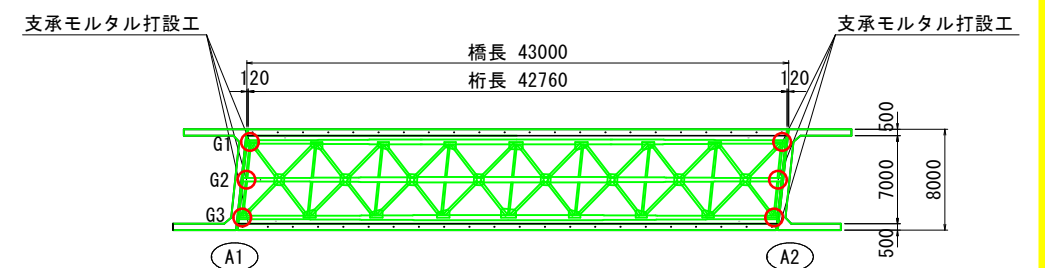


配筋図 S=1:10

加工筋図 S=1:10



配置図 S=1:300



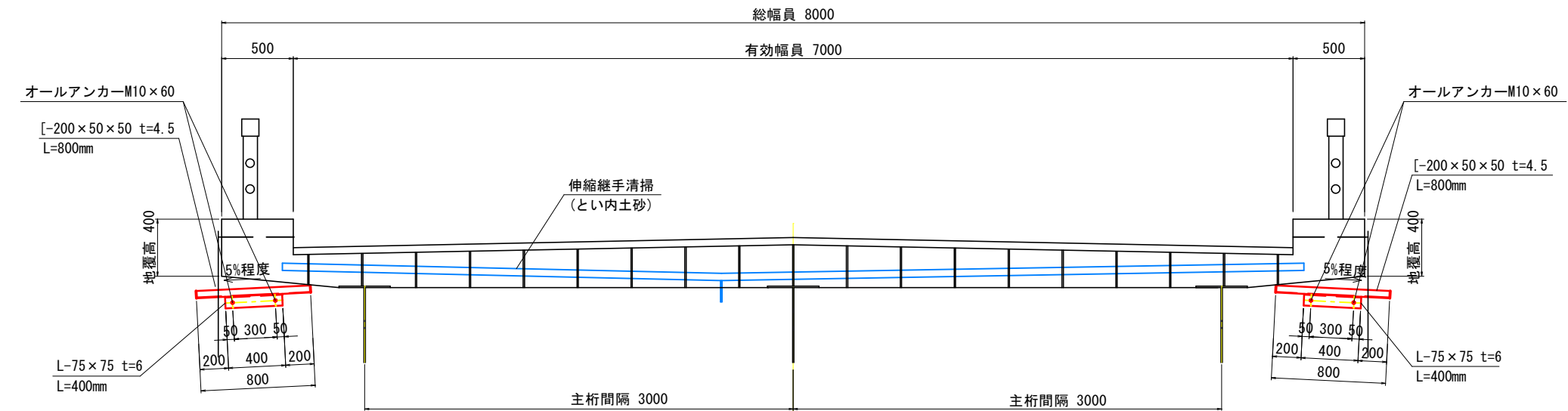
注意事項

1. 当該図面は、既存資料及び簡易計測により復元したものである。
2. 細部寸法などは想定箇所もあるため、使用の際は注意すること。
3. 地中部等の形状が不明な箇所は破線とする。
4. 脆弱部は取り除くこと。
5. 支承モルタル取壊しにあたり必要に応じてカッター切断を検討すること。
6. 取壊し形状が図面によりがない場合は監督員と協議すること。
7. 支承モルタル取壊しおよび打替えは荷重の分散を考慮し、1箇所ずつ施工すること望ましい。
8. コンクリートの取壊しは鉄筋を損傷させないよう十分注意すること。
9. ナットの緩みが確認された箇所は確実に増締めを行うこと。

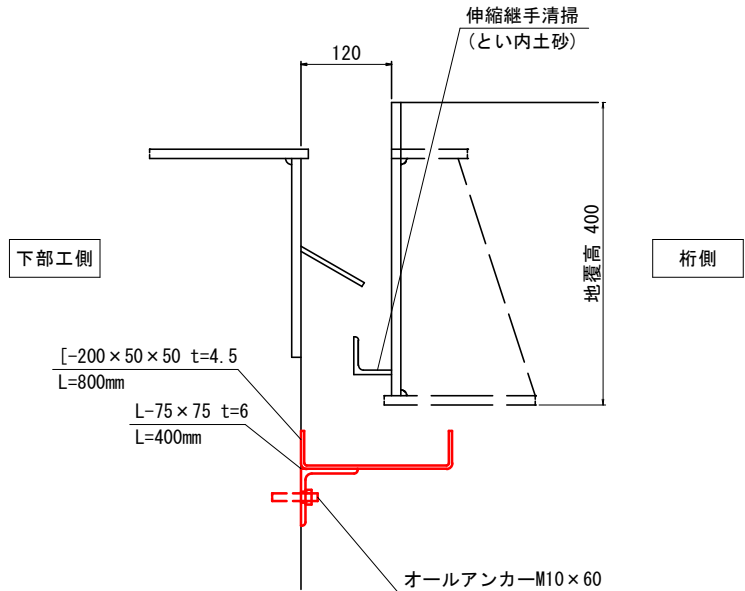
【 境 橋 】			
工 事 名	境橋補修設計委託（繰越）		
図 面 名	支 承 補 修 図		
作成年月日	令和 6 年 7 月		
縮 尺	図 示	図面番号	5 / 9
会 社 名	サン技術コンサルティング株式会社		
事業者名	網 走 市		

地覆部止水材取付図

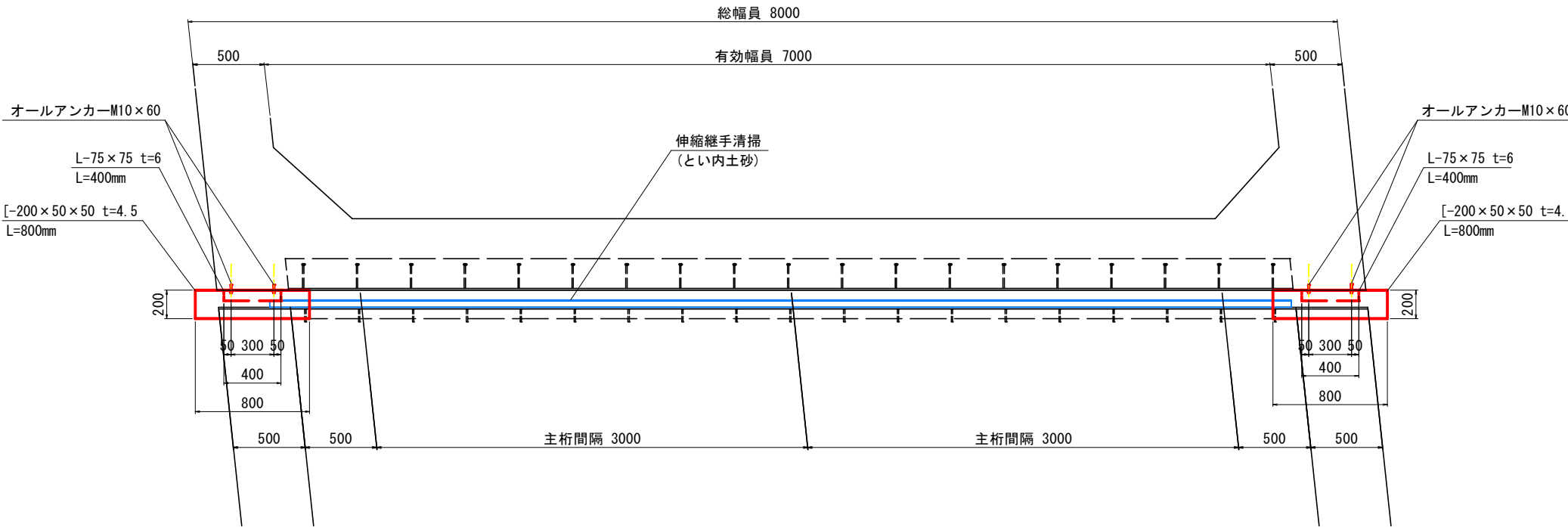
断面図 S=1:20



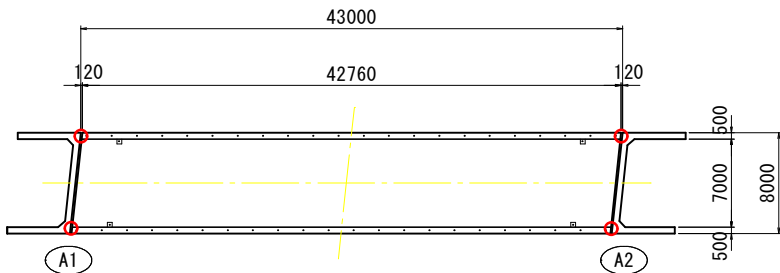
側面図 S=1:5



平面図 S=1:20



配置図 S=1:300



注意事項

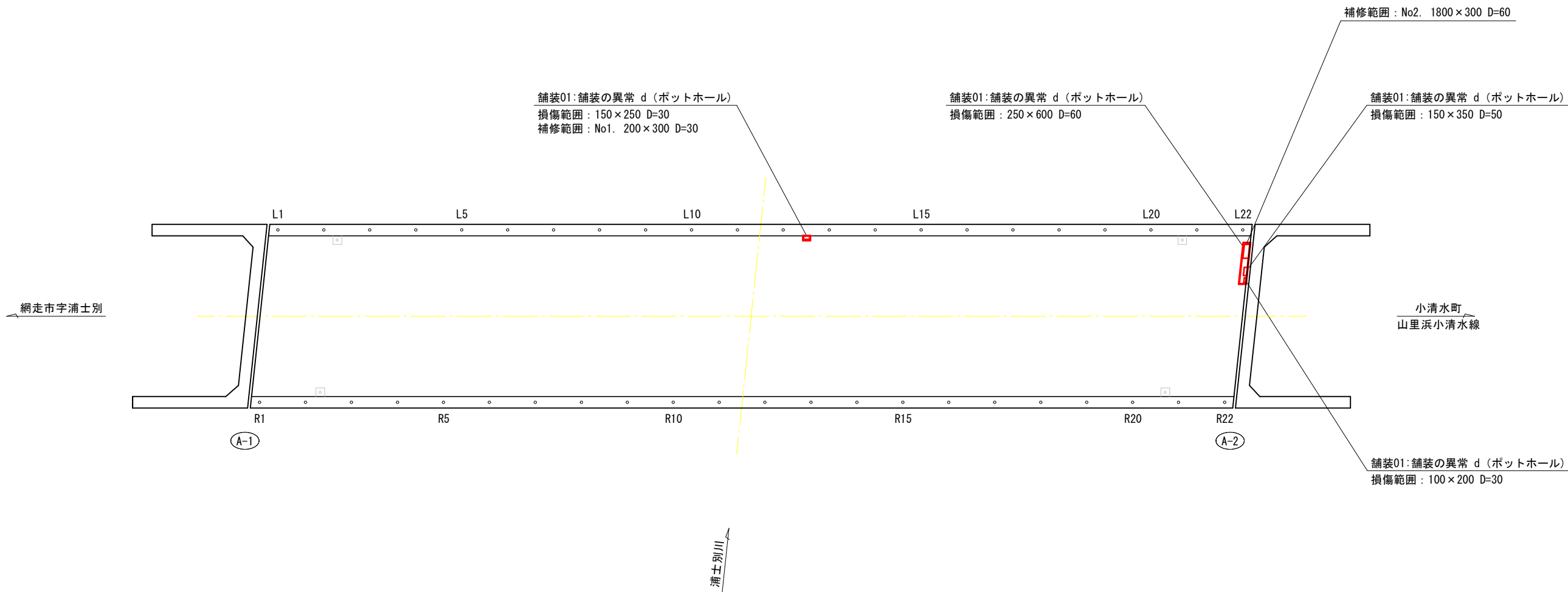
- 細部寸法などは想定箇所もあるため、使用の際は注意すること。
- 止水装置取付の際、伸縮装置内部の雨水受け(樋)と路面櫛型PLに堆積した土砂を除去、清掃すること。
- オールアンカーはステンレス品とし、取付位置は、鉄筋探査により干渉しないことを確認すること。
- 鋼材については、SS400、溶融亜鉛メッキ仕上とする。

【境橋】

工事名	境橋補修設計委託(繰越)		
図面名	地覆部止水材取付図		
作成年月日	令和 6 年 7 月		
縮尺	図示	図面番号	6 / 9
会社名	サン技術コンサルタント株式会社		
事業者名	網走市		

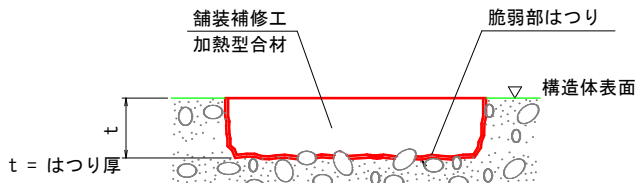
舗装補修図

平面図 S=1:100

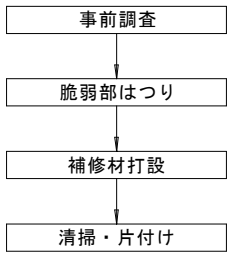


舗装補修工標準図

S=non scale



舗装補修 施工手順



舗装補修数量表

部材	No	L1 (mm)	L2 (mm)	t (mm)	体積 v (m3)
舗装01	1	200	300	30	0.00180
	2	1800	300	60	0.03240
	合 計				0.03420

注意事項

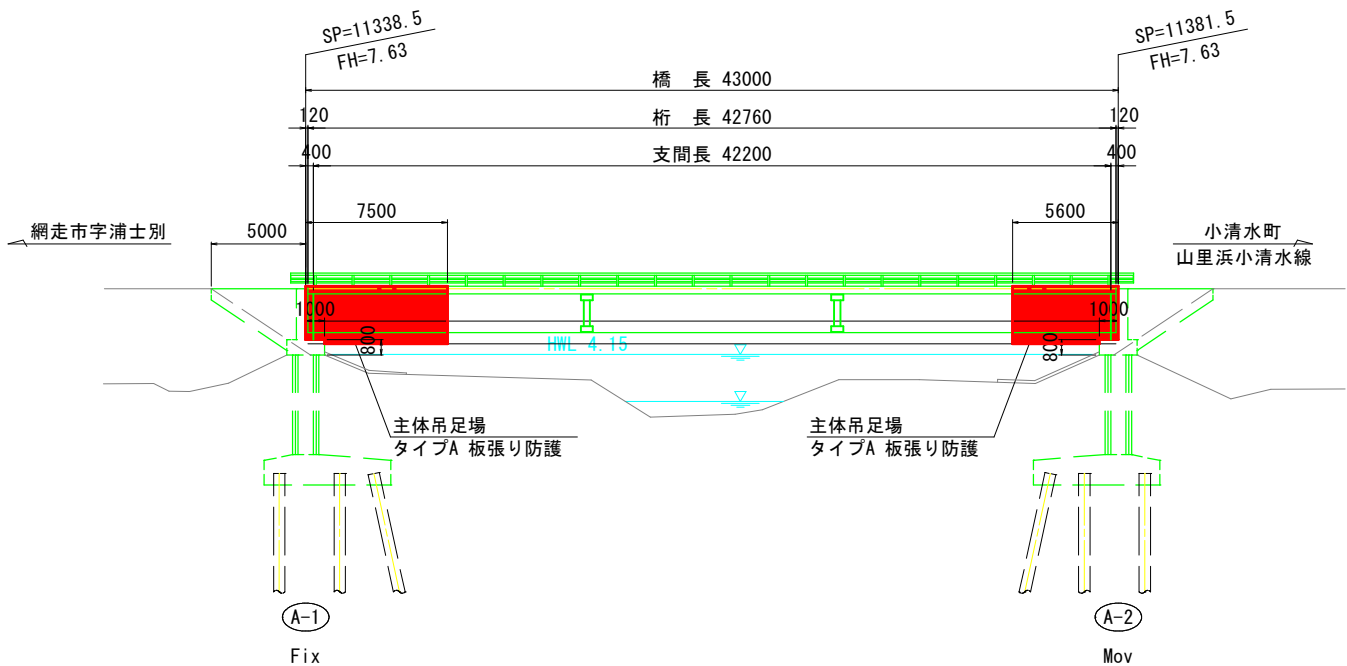
- 当該図は、既存資料及び簡易計測により復元したものである。
- 細部寸法などは想定箇所もあるため、使用の際は注意すること。

【境橋】

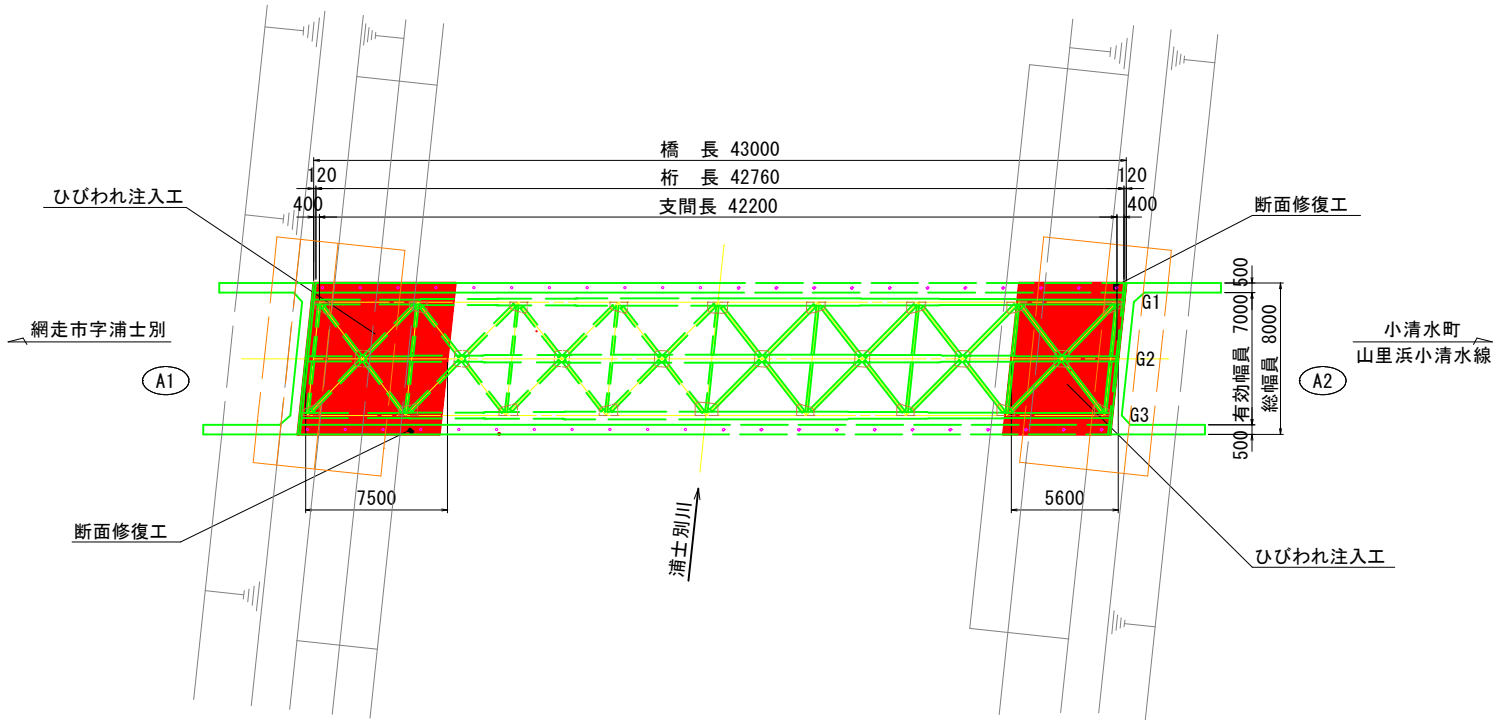
工 事 名	境橋補修設計委託(繰越)		
図 面 名	舗装補修図		
作成年月日	令和 6 年 7 月		
縮 尺	図 示	図面番号	7 / 9
会 社 名	サン技術コンサルタント株式会社		
事業者名	網 走 市		

仮設工図
(参考図)

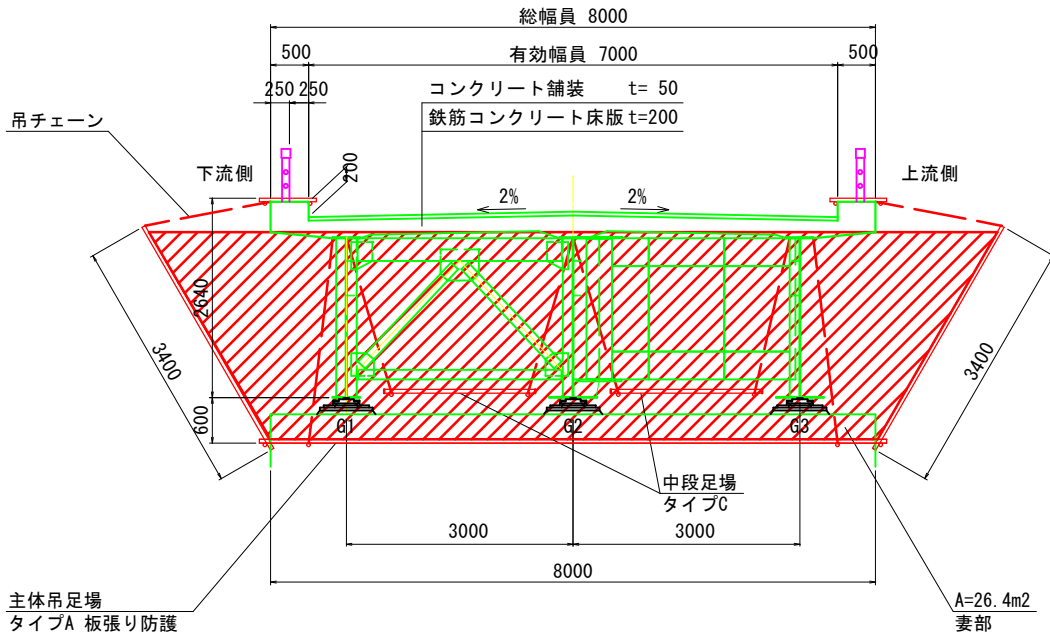
側面図 S=1:200



平面図 S=1:200



断面図 S=1:50



注意事項

1. 当該図面は、既存資料及び簡易計測により復元したものである。
2. 細部寸法などは想定箇所もあるため、使用の際は注意すること。
3. 当該図面は、参考図であるため施工時に現地条件を勘案し、決定すること。

【境橋】

工事名	境橋補修設計委託（繰越）		
図面名	仮設工図（参考図）		
作成年月日	令和 6 年 7 月		
縮尺	図示	図面番号	8 / 9
会社名	サン技術コンサルタント株式会社		
事業者名	網 走 市		

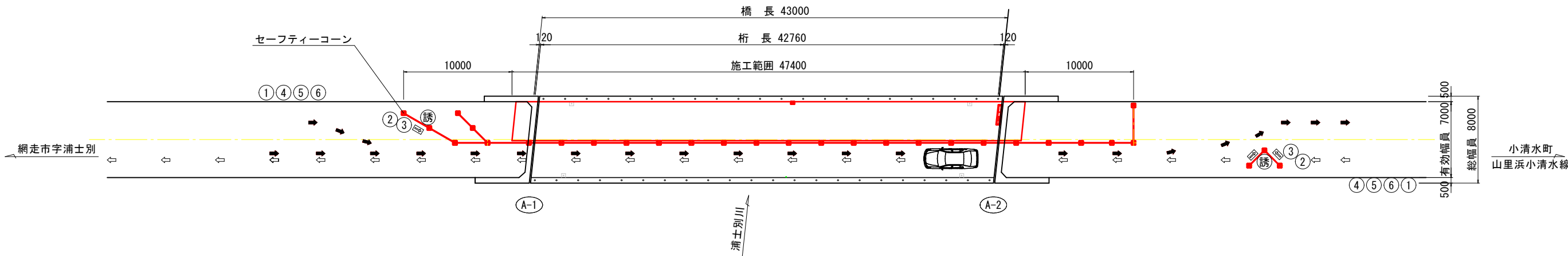
交通規制図

(参考図)

平面図

S=1:200

舗装補修時

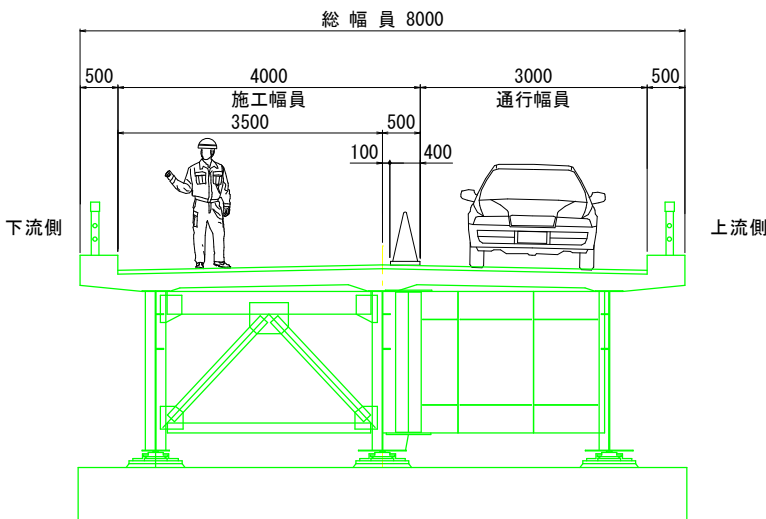


断面図

S=1:50

保安設備

S=non scale



① 規制標識

② 工事名標示板

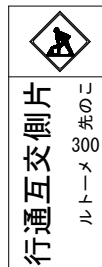
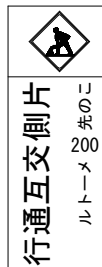
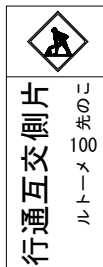
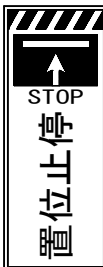
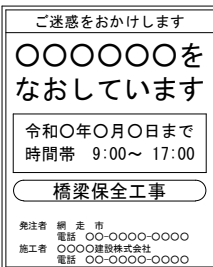
③ 停止線標識

④ 片側交互通行標示板

⑤ 片側交互通行標示板

⑥ 片側交互通行標示板

⑦ 誘導員



注意事項

1. 当該図面は、参考図であるため施工時に現地条件を勘案し、決定すること。
2. 交通規制にあたり関係機関と協議を行うこと。
3. 大型車両は迂回とすること。

【境橋】

工 事 名	境橋補修設計委託(緑越)		
図 面 名	交通規制図(参考図)		
作成年月日	令和 6 年 7 月		
縮 尺	図 示	図面番号	9 / 9
会 社 名	サン技術コンサルタント株式会社		
事業者名	網 走 市		